

令和5年度

日立市総合教育会議

令和5年12月1日

議題1 日立市教育大綱の改訂について

議題2 未来を拓く資質・能力の育成について

議題

Ⅰ 日立市教育大綱の改訂について

1 教育大綱の改訂に係る基本的な考え方（1）

(1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、本市が目指す教育の基本的な考え方を示す総合的な施策の大綱を市長が定める。

(2) 基本理念：**未来を拓く人づくり**

情報技術の急速な進展や人口減少など、変化の激しい時代の中で、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造し、夢に向かって、未来を拓く人材の育成が求められています。

本市の学校教育では、ものづくりのまちとして発展してきた歴史や伝統を学び、郷土への愛着を深めながら、グローバルに活躍できるための基礎を育みます。

また、人生100年時代を健康で、より豊かに生きていくために、生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりを目指します。



1 教育大綱の改訂に係る基本的な考え方（2）

- (3) 教育の基本となる内容には普遍性があることから、柱となる部分（骨子）については、現行の大綱を継続する。
- (4) 近年の教育を取り巻く環境の変化等を踏まえ、内容の一部を修正する。
- (5) 教育に関する計画との整合を図る。
- (6) 計画期間：**令和5年度から令和9年度まで**

人づくり・まちづくり そしてみんなの幸せづくり

まちづくりは「人づくり」であり、人づくりは「未来づくり」。

ひたちらしさを活かした教育で、大きな可能性を伸ばしたい。

まち全体で、子どもたちの笑顔と元気を育みます。



2-1 3つの柱



家族が好き

～愛情を感じながら、健やかに育つ～



学校が好き

～なりたい自分を夢見て、主体的に学ぶ～



ひたちが好き

～まちのいいところを発見して、未来を描こう～



家族が好き

～愛情を感じながら、健やかに育つ～

安心して子育てができる環境を整え、子どもの健やかな心と体を育む家庭の教育力の向上を目指します。





学校が好き

～なりたい自分を夢見て、主体的に学ぶ～

夢や希望をもち、グローバル化や技術革新の進む時代を生き抜くための確かな学力を育む教育を目指します。



- ◆ 自分が好き 【自分の可能性を信じて、夢を描くことは楽しい】
子どもたち一人一人が持つよさや可能性を見出し、伸ばすことができる教育を
目指します。
- ◆ 友だちが好き 【みんなと一緒にだから、毎日が楽しい】
お互いが認め合い、未来への夢を描くことができる子どもたちを育てます。
- ◆ 先生が好き 【愛情と熱意があふれる、授業は楽しい】
生き生きと充実して、先生が子どもたちに向き合うことができる環境を整えます。

2-4 3つの柱③



ひたちが好き

～まちのいいところを発見して、未来を描こう～

海と山に恵まれた豊かな自然、歴史や伝統・文化など、
ひたちのルーツを学び、郷土を誇りに思う教育を目指します。



3-1 施策の方向性 ～推進テーマ～

- 「基本理念」の実現を目指して、日立市として重点的に取り組む「施策の方向性（推進テーマ）」を示します。
- 子どもたちが変化の激しい社会を生き抜き、豊かな人生を送るために必要な「生きる力」を育成することを基本とします。
- 持続可能な社会の創り手となる子どもたちの大きな可能性を見出し、伸ばしていくため、これまで行ってきた教育に加え、デジタル化や環境教育を推進します。
- 「ひたちらしさ」を活かし、コミュニティ等との連携のもと、未来を拓く人材を育成するとともに、豊かな文化を育みます。
 - 1 学ぶ 夢みる そして輝く【学校教育】
 - 2 自分らしく笑涯（しょうがい）輝く【生涯学習】
 - 3 スポーツでつながる 元気、感動、輝く笑顔【スポーツ】

3-2 施策の方向性 学ぶ 夢みる そして輝く【学校教育】

学校が安全で子どもたちが笑顔でいられるとともに、教職員が子ども一人一人に寄り添い、可能性を十分に引き出すことで、子どもたちが未来の社会の発展・充実に向けて大きくはばたき、心豊かで充実した幸せな人生を送ることができる人づくりと、『教育は日立市で！』と思われる教育を目指します。

施策の6つの柱

- ① **確かな学力の向上と活用する力の育成**
(NIEの推進、電子書籍貸出サービス活用による読書の推進)
- ② **豊かな心と健やかな体を育む教育の推進**
(未来パスポートの活用、郷土教育の推進、豊かな体験の支援<英語体験学習、伝統芸能活動>)
- ③ **子ども一人一人に寄り添う教育の推進**
(教育相談員の全校配置、部活動の段階的な地域移行)

3-2 施策の方向性 学ぶ 夢みる そして輝く【学校教育】

施策の6つの柱

- ④ **変化の激しい社会を生き抜く能力の育成**
(ICT活用教育の推進、デジタル教科書活用の推進、ALT活用による英語力の育成)
- ⑤ **教育環境の充実と地域と連携した魅力ある学校づくり**
(学校再編の推進、情報教育環境の整備、日立特別支援学校の整備)
- ⑥ **すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる環境づくり**
(ランドセル及びスクールカバンの贈呈、大学・専門学校等への進学支援)

3-3 施策の方向性 自分らしく 笑涯（しょうがい）輝く【生涯学習】

市民一人一人が、笑顔で、生涯を通じていきいきと学び続け、豊かで生きがいのある暮らしを送るとともに、学びを地域社会に還元しつつ自分らしく活躍でき、本市の歴史や文化をいかして豊かに暮らせる『いつでも どこでも だれでも まなびあう』まちづくりを目指します。

施策の3つの柱

- ① きっかけを見つける
(職業探検少年団の活動支援、市民カレッジにおける講座の充実)
- ② 人生100年時代を豊かに生きる
(放課後児童対策の推進、高齢者のデジタル端末活用支援、いのちの教育の実施)
- ③ 支え合い共に生きる社会を創る
(ラジオ体操の普及、ひたち生き生き百年塾の活動支援)

3-4 施策の方向性 スポーツでつながる 元気、感動、輝く笑顔【スポーツ】

スポーツは、体力の向上や健康増進をもたらすだけでなく、人々を『笑顔』にし、時には『感動』を与え、地域の活性化に良い影響を与えるものです。市民が身近な場所で楽しくスポーツに親しみ、『元気』に生きがいを持って暮らせる環境づくりを進めるとともに、スポーツイベント等の開催による交流人口の拡大など、『スポーツを活用したまちおこし』を目指します。

施策の4つの柱

- ① **市民の誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツの推進**
(DXの活用による様々なスポーツへの参加機会の提供、市民とプロスポーツ選手等との交流・協働)
- ② **競技スポーツとスポーツを支える団体の育成・支援**
(スポーツスクール・アカデミーの誘致・促進、総合型地域スポーツクラブ等の活動支援)
- ③ **スポーツを通じた地域の活性化**
(フルマラソンの開催による交流人口の拡大、プロスポーツ等と連携した多様な情報の発信)
- ④ **スポーツ施設の多様な整備**
(市民運動公園野球場の再整備、南部地区への新たなスポーツ施設の整備)

3-5 教育への思い



人は一生学び続けるもの。
文化や芸術、スポーツなどに親しみながら、
市民一人ひとりが輝くための「教育」を応援します。



議題

2 未来を拓く資質・能力の育成について

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

- (1) 情報や考えなどを積極的に発信し、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を活用したコミュニケーション活動の充実
- (2) 自国の歴史や文化などの理解を深める機会の充実
- (3) 英語教育の充実

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

本市における英語教育の推進

小中(高)の学びを円滑に接続させ、「英語を使って何ができるようになるか」という観点での教育を実施する。

自分の考えや気持ちなどを簡単な英語で伝えたり、相手の考えや気持ちを理解し、受け答えする言語活動を授業に取り入れ、**主体的なコミュニケーション力**を育成する。

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

小学校1・2年生

- ◆目標 英語に触れたり親しんだりする
- ◆ALT活用 朝の会等で15分×9回
- ◆目指す姿
 - ・あいさつや歌、絵本の読み聞かせ等で、英語特有の音やリズムに親しむ。
 - ・ネイティブの発音や発話を真似ようとする。
 - ・いろいろな国の人に興味を持ち、主体的にコミュニケーションを図る。

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

小学校3・4年生

- ◆目標 コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成
- ◆ALT活用 年間35時間
- ◆目指す姿
 - ・身振りや表情、ジェスチャーなどを交えながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝える。
 - ・ALTを通して言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、コミュニケーションを図る。

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

小学校5・6年生

- ◆目標 コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成
- ◆ALT活用 年間70時間
- ◆目指す姿
 - ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝える。
 - ・ALTを通して外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、コミュニケーションを図る。

2 I グローバル社会を生きる子どもたちに必要な教育の推進

金沢小学校と仲町小学校の授業での
ALTによるコミュニケーション力育成の
様子などをご覧ください。



2 II ICT機器を活用した効果的な学習の実践

黒板と電子黒板それぞれの特長を生かした使い分け

- ◆黒板
 - ・静的な表示
- ◆電子黒板
 - ・写真や資料を瞬時に拡大表示できる。
 - ・映像、アニメーションなど動きがあるものを表現できる。(動的な表示)
 - ・教材にマーキングや補足説明などを直接画面に書き込むことができる。
 - ・タッチ操作により、拡大や移動をすることができる。
 - ・提示されたものを保存しておき、後で再び見ることができる。

2 II ICT機器を活用した効果的な学習の実践

デジタル教科書を使用した電子黒板の活用について、実演します。



本日は、令和5年度日立市総合教育会議に
ご出席いただきありがとうございました。

